

フブ・服部の中国通信

中国ギネス事情！

先日、中国で新たなギネスブック世界記録が生まれ「ようど」しました。一部メディアでも報道されていましたが、申請されたのは江蘇省揚州市でギネス申請された「**世界最大のチャーハン**」なんと3000人がかりで4.2トンものチャーハンを作ったそうです。江蘇省揚州市といえば、「**揚州チャーハン(揚州炒飯)**」で有名な町で、我々の主戦場、福建省でもご飯屋さんに行けば必ずと言っていいほどこの揚州チャーハンがあります。調理法は至ってスタンダード。**卵、肉、海鮮、野菜**などを細かく刻んで入れて、**ご飯**と一緒に**油**で炒める。一言で言えば五目チャーハンですね。



↑こんなです(ウィキペディアより)

写真撮影が素晴らしすぎておなかが減ってきました。4.2トンという重量もすごいですが、調理人数3,000人・・・これ、ひょっとしたら一度に同じ料理を調理する人数でも世界記録なんじゃないでしょうか・・・これだけの人数と物資をギネス申請に投入できる中国・・・本当に大きな国です。色々な意味で。



ただご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、このギネス認定は取り消しになりました。なんでも記録認定後、このチャーハンがフタの餌としてゴミ収集車で運ばれた事実が判明したことをうけ、食物の浪費であるとギネス側が判断したためであるとのこと。

このイベント主催者は「食物の浪費ではまったく無い。人が食べられないからフタの餌にするのだ」と反論しているようです。4.2トン÷3000人・・・ざっと一人あたり1.4kgですか・・・確かに少々無理がある気はしますね・・・

これが道義上どうであるかと言うコメントは避けませんが、これだけ大量の物資、人数を投入し、しかも認定後取消という不名誉な記録を打ち立ててしまった主催者は泣くに泣けないことでしょう。

このようなギネス記録はこれだけではありません。中国と言う国は他にも下記のような「中国ならでは」というギネス記録を持っています。

2003年 — 1万人で歯磨き

2005年 — 1万5000人で合唱

2006年 — 1万2000人でお見合い

2007年 — 4800人で手話の合唱

2007年 — 1000人収容の公衆トイレ

2008年 — 3050卓で宴会

2011年 — 1万4000人で温泉

2015年 — 120万人で太極拳（世界同時開催）

同等の人口がいてもインドではこうはいかないでしょうね・・・

上から強権的に「参加せよ」と言うようなことは出来なさそうですし・・・

しかしまあなんとんでもくだらない(失礼)記録を作ったものです(笑)。もっともギネス記録のそう少なくない一定部分をこのような珍記録が占めているのも事実ですが。

ちなみに1000人収容の公衆トイレというのは重慶市にありこのような外観をしているそうです。



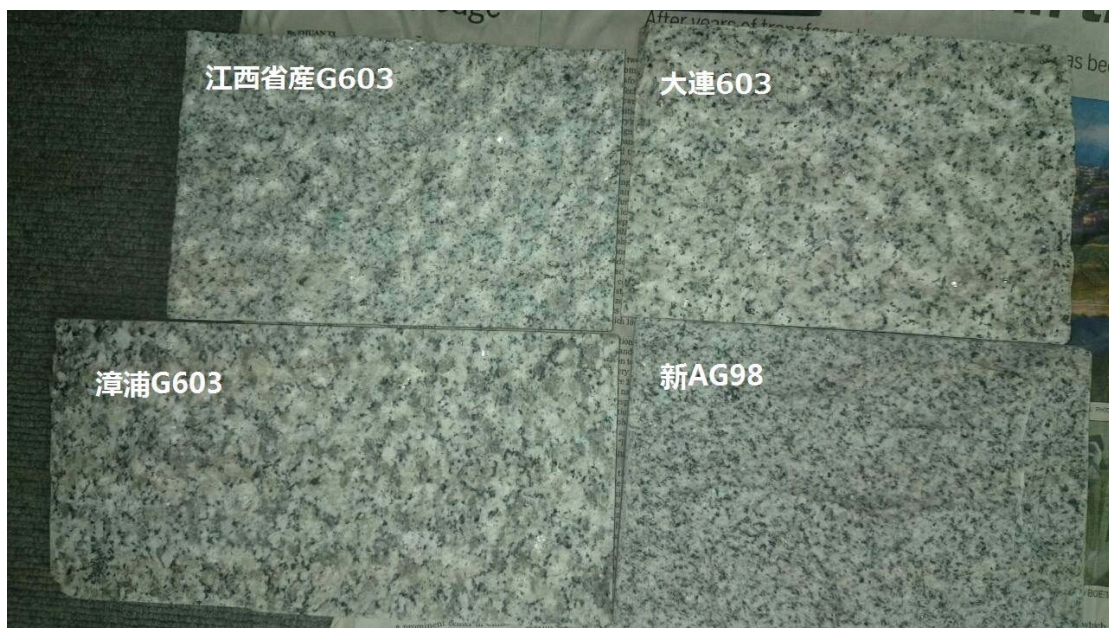
中国語のわからない日本人が行ってもおそらくトイレだと分からないということだけは分かりました(笑)

一 手加工建築材料の現況 一

間知石、ノミ切り板石・・・603が無くなるので難しくなりますよー、と言うアナウンスをして久しいのですがなんだかんだで続いていますね・・・山が止まっているのは本当ですよ！信じてください・・・

以前からの在庫、丁場の少量盗掘等で行りくりしているのが現状です。

ただし、さすがに値上がりも激しく供給も不安定なことから、最近新石種が出だしました。



江西603 漳浦603 新AG98については墓石外柵でも使用がありますのでなんとなく想像もつくのですが「大連603って何？」です。あんな都会で石が取れるのでしょうか・・・

そもそも大連から福建に石を運んで、それで値段合うの？それが出来るなら大連で外柵安く作れるのでは・・・色々興味は尽きませんが、11月初旬に中国出張を予定していますので、そのとき見てくることにしましょう。

残念ながら、現時点ではこの石種なら 603 より安いですよ！と言えるほど安い石はありません、同じ程度かやや高いです。

ただし、新 AG98 などは中細目系の石で好まれる方もいらっしゃるでしょうし、将来において「603 より安いですよ！」と言える石種が出てくるかもしれません。

今回はひとまず、記憶の片隅にでもとどめて置いていただければ幸いです。それでは今回はこの辺にさせていただきます。また来月お会いしましょう。再見。

11月1日 服部